

2012 年 10 月 12 日

報道機関各位

第5回生物多様性協働フォーラム 開催のお知らせ

大阪生物多様性保全ネットワーク(大阪市立自然史博物館、大阪府立環境農林水産総合研究所、大阪府立大学、大阪市立大学、関西自然保護機構、生物多様性かんさい、特定非営利活動法人大阪自然史センター、大阪府、大阪市、堺市)と生物多様性協働フォーラム事務局(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社、兵庫県立人と自然の博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク)は、「第5回生物多様性協働フォーラム」を以下の通り開催します。

1. 開催目的

第5回生物多様性協働フォーラムは、生物多様性に関する取組において企業とNGOなどの団体や一般の方々をつなげる新たな機会を提供することを目的としています。

都市である消費地からみた生物多様性として、『グリーンビジネスでつなげる「都市生活」と「生物多様性」』をテーマとし、生物多様性保全に貢献する生産地と消費地をつなげるために、私たちがこれからのようにして生物多様性に関わり、行動していけるのかについて考えます。

2. 開催主体

主 催	● 大阪生物多様性保全ネットワーク(大阪市立自然史博物館、大阪府立環境農林水産総合研究所、大阪府立大学、大阪市立大学、関西自然保護機構、生物多様性かんさい、特定非営利活動法人大阪自然史センター、大阪府、大阪市、堺市) ● 生物多様性協働フォーラム事務局(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社、兵庫県立人と自然の博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク)
協 力	環境省、生物多様性民間参画パートナーシップ、滋賀県立琵琶湖博物館、生物多様性とくしま会議、徳島大学環境防災研究センター、株式会社三菱東京 UFJ 銀行
後 援	関西広域連合、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所

3. 開催概要

【テーマ】 グリーンビジネスでつなげる「都市生活」と「生物多様性」

日 時	2012 年 11 月 11 日(日) 13 時 00 分～15 時 30 分(12 時 30 分受付開始)
会 場	大阪市立自然史博物館 講堂 (大阪市東住吉区長居公園 1 - 23)

参加費	無料
開会挨拶	小河 保之(大阪府 副知事)
主旨説明	山西 良平(大阪市立自然史博物館 館長)
基調講演	グリーンエコノミーと生物多様性 佐藤 正弘(京都大学経済研究所 准教授)
事例報告	“結(ゆい)の森”からの挑戦 齊藤 申一(コクヨ株式会社 本社統括部 CSR・環境グループ) おサイフから自然を考える 横山 博志(パルシステム生活協同組合連合会 産直推進部) “おいしい”を楽しむ続けるために 鎌田 磨人(徳島大学大学院 教授/生物多様性とくしま会議 共同代表)
コメント	- 連携・市民協働の積み重ねでつくる生物多様性施策 - 【コーディネータ】 石井 実(大阪府立大学大学院 教授) 【モデレータ】 佐久間 大輔(大阪市立自然史博物館 主任学芸員) 永井 克治(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 / 地域・環境戦略グループ長)
今後の展望	谷田 一三(大阪生物多様性保全ネットワーク 代表)
閉会挨拶	関司 忠之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 常務)

【お申し込み方法】

以下の web サイトお申し込み専用ページよりお申し込みください。

お申し込み URL: <http://www.murc.jp/forum/BDC.html>

なお、自社・団体の生物多様性に関する取り組みを紹介したパンフレット等を会場スペースで展示・配布していただけます。ご希望の場合は、参加申し込みの際に「パンフレット展示・配布希望」欄で「希望する」を選択してください(ご応募多数の場合は先着順とさせていただきます)。

【本件に関するお問い合わせ】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 政策研究事業本部 研究開発第2部
西田 貴明、戸田 佑也、永井 克治
〒530-8213 大阪市北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA19F
TEL 06-7637-1480 E-mail bio-kansai@murc.jp

【大阪生物多様性保全ネットワーク】

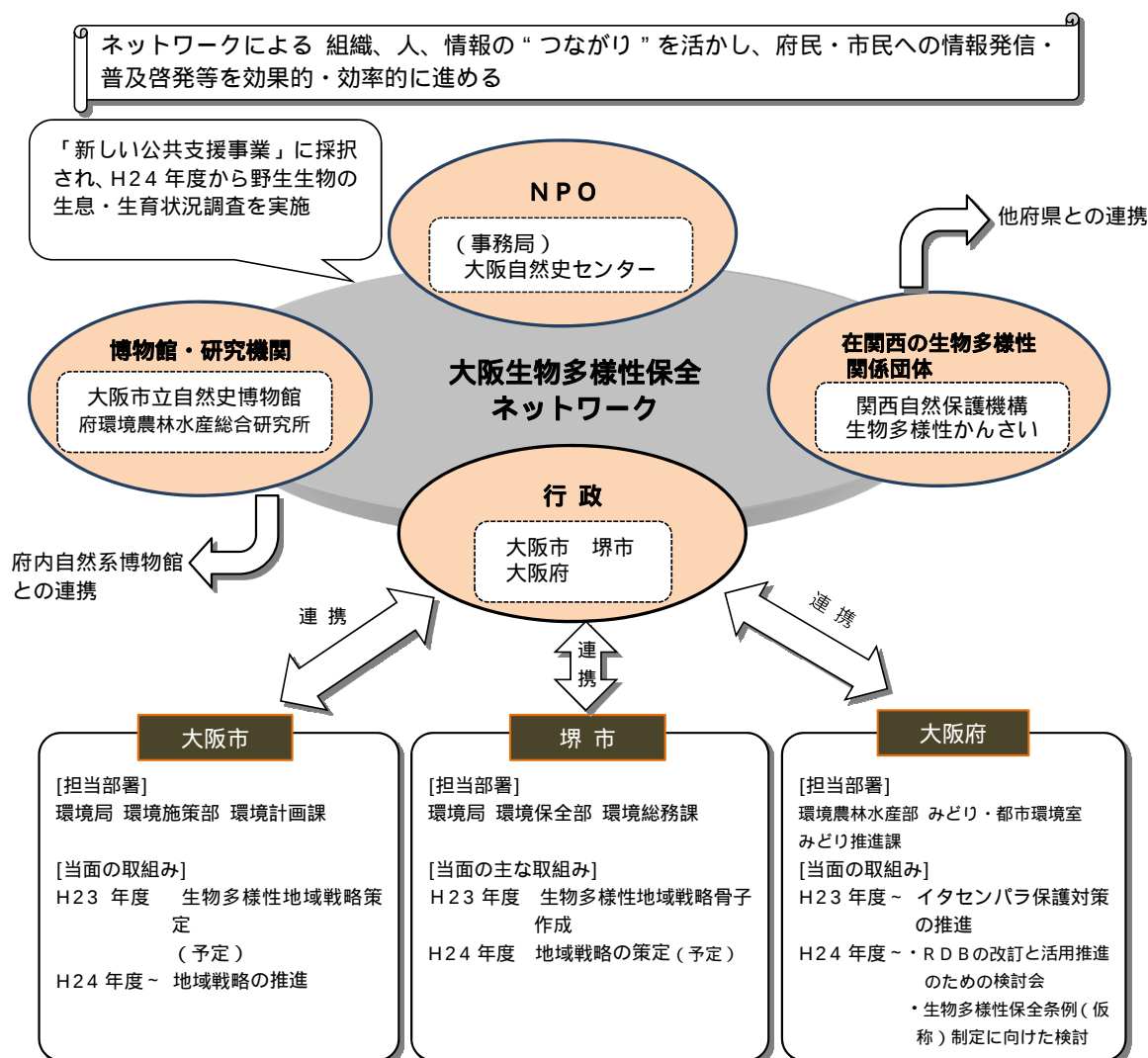
大阪での生物多様性の保全に向けた取り組みを包括的に行うため、2012年3月にNPO法人大阪自然史センターが事務局となり、「新しい公共の場」として、教育機関・研究機関・NPO・行政・地域などの相互の連携をはかる組織となる「大阪生物多様性保全ネットワーク」が設立された。現在の参加機関は、大阪市立自然史博物館、大阪府立環境農林水産総合研究所、大阪府立大学、大阪市立大学、関西自然保護機構、生物多様性かんさい、特定非営利活動法人大阪自然史センター、大阪府、大阪市、堺市である。

大阪府内の自然情報を集約化し、自然財産として利活用できる仕組みづくりを行うとともに、府民の方々の生物多様性に対する理解を深めながら、さまざまな主体と連携し、生物の生息環境の保全と回復への行動を促進し、ネットワークを活用した情報収集、情報発信にも取り組んでいる。

URL : <http://www.omnh.net/npo/>

代表 : 谷田 一三

所在地 : 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館内



【生物多様性協働フォーラム事務局】

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンク。東京・名古屋・大阪の3大都市を拠点に、国内外のあらゆる分野の課題に対応できる多彩な人材を配し、総合的な視点から、コンサルティング、政策研究、国際関係業務、マクロ経済分析、教育研修など幅広い事業分野において多様なサービスを展開。同社の基幹業務を担う政策研究事業本部は、国や自治体等の政策立案支援等の機能を持ち、地域に密着した企業や行政との幅広いネットワークにより、ソリューションとコンサルティングを提供。

URL : <http://www.murc.jp>

創立 : 1985 年 10 月

資本金 : 20 億 6 千万円

代表者 : 代表取締役社長 水野 俊秀

事業所 :

〔本 社〕 東京都港区虎ノ門五丁目 11 番 2 号 オランダヒルズ森タワー

〔名古屋〕 名古屋市中区錦三丁目 20 番 27 号 御幸ビル

〔大 阪〕 大阪市北区梅田二丁目 5 番 25 号 ハービス OSAKA

兵庫県立人と自然の博物館

愛称『ひととく』。貴重な資料標本と優れた研究者などが核となり、生涯学習に機能的に対応できる「人と自然の共生博物館」を目指す。地域の自然・環境情報の一元管理をすすめ、それらを活用した自然・環境に関する総合的なシンクタンク活動を組織的に実践しており、行政・企業などから生物多様性に関する研究を受託するなど、地方自治体、民間企業の生物多様性活動の支援も積極的な活動を展開。

URL : <http://hitohaku.jp>

館長 : 岩槻 邦男

所在地 : 兵庫県三田市弥生が丘六丁目

特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク

環瀬戸内地域(中国・四国地方)自然史系博物館ネットワーク推進協議会が NPO 法人化し、西日本自然史系博物館ネットワークと改称(2004 年 4 月 27 日付けで認証)。21 世紀の日本における自然史系博物館が社会に果たすべき役割の重要性と潜在的可能性を再認識し、自然史系博物館を活用した市民学習の支援、自然科学の振興、自然環境管理に必要な基礎情報の収集と研究、博物館と諸機関・諸団体との広汎な連携の構築といった諸課題を推進するとともに、併せてまちづくり、国際交流及び情報化社会の発展にも寄与することを目的として設立。

URL : <http://www.naturemuseum.net/>

理事長 : 山西良平(大阪市立自然史博物館 館長)

事務所 : 大阪市東住吉区長居公園一丁目 23 番